

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970101634
法人名	社団法人 高知市労働事業協会
事業所名	グループホーム やさしい里
訪問調査日	平成 20 年 3 月 12 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 26 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 2008年3月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3970101634		
法人名	社団法人 高知市労働事業協会		
事業所名	グループホーム やさしい里		
所在地 (電話番号)	高知市朝倉己771-1 (電話)088-843-1303		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年3月12日	評価確定日	平成20年6月26日

【情報提供票より】(20年 2月18日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 10(内兼務2)人, 非常勤 6人, 常勤換算 10.1 人	

(2)建物概要

建物形態	併設 <input checked="" type="checkbox"/> 単独 <input type="checkbox"/>	新築 <input checked="" type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/>
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	1 階 ~ 2 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	32,000 円	その他の経費(月額)	17,000 円	
敷金	有() 円 無 <input checked="" type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 <input checked="" type="checkbox"/> (100,000円)	有りの場合 償却の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 900 円			

(4)利用者の概要(3月 3日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	0 名	要介護2	5 名		
要介護3	4 名	要介護4	4 名		
要介護5	5 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.5 歳	最低	73 歳	最高	94 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	いずみの病院、高知脳神経外科、木村病院、宮上内科、 ごとう歯科
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

洒落た外観のグループホームは、一見木造のようで清潔感にあふれている。看護師が配置されたことにより、健康管理の面でも、利用者や家族に安心と信頼を与えている。居室には、日常的に使用する家具や道具が、居心地良く配置され、収納にも個人のプライバシーを守る配慮が窺われる。外出時には、地域からボランティアの参加もあり、今後更に、地域に根ざした活動が期待できるグループホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題については、苦情相談の窓口を重要事項説明書に明記し、感染症対策のマニュアルも作成し、ケア計画に沿った個人記録についても様式を変えるなど、職員と話し合っており取り組んでいる。日々の暮らしぶりを家族に伝える便りについては、創刊号を発行した後途切れているので、継続して発行することを期待したい。</p>
	②	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の意義について職員に話し、気がついた点を記入した後で、管理者がまとめている。</p>
重点項目	③	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議では、自己評価や外部評価の報告など、グループホームからの報告や提案が中心となり、双方向的な会議にはなっていない。今後、グループホームのサービスの質の向上のためにも、メンバーから意見が出るように取り組むことが期待される。</p>
重点項目	④	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の来訪時には声を掛け、県外の家族には電話で連絡している。家族来訪時に写真を渡しているが、日ごろの暮らしぶりを伝える便りは、創刊号の後、発行していない。今後、定期的なホーム便りの発行を期待したい。家族会の代表が、運営推進会議に参加しているが、家族は遠慮がちとなるので、意見が出しやすいように意見箱を設置している。今までに、職員の配置や見守り、部屋の片付けなどの要望が出されたが、すぐに対応し、苦情には至っていない。</p>
重点項目	⑤	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の運動団体が、町会、自治会の役割を果たしているため、町会は組織されていないが、地区の一斉清掃、夏祭り、不燃物の当番等の地域活動には職員が参加している。また敬老会へのカンパも行い、地域との接点を持つように努めている。地域の市民会館(市の出先機関)とは常に連絡を取り、良い関係を作っている。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 「地域社会の一員として生活する」という理念があり、地域密着型としての役割は十分に認識している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 日々のサービスは理念をベースに取り組んでいる。月1回の学習会で、人間の尊厳について学び、理念を共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 個人の尊厳を守るため、利用者の意見や考えを受け止め、時間を掛けて話し合い対応している。排泄の失敗にも、利用者の人格を大切に声掛けや態度で接している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 地域の運動団体が、町会、自治会の役割を果たしているため、町会は組織されていない。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地区の一斉掃除、夏祭り、不燃物の当番等の地域活動には職員が参加している。また敬老会へのカンパも行い、地域との接点を持つように努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 職員に自己評価表を回覧し、書き込んでもらい、管理者がまとめている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 改善課題については、ミーティングで話し合い、取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 グループホームからは実情や行事の報告はしているが、参加メンバーからは地震対策以外に意見は出していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 自己評価、外部評価とも報告し、記録している。	○	グループホームのサービスの質の向上のためにも、メンバーから意見が出るような工夫をし、双方向的な会になることを期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 グループホームの連絡会を提案し、地域包括支援センターが地域の他のグループホーム等にアンケートを実施し、取り組み中である。また、地域の市民会館(市の出先機関)とは常に連絡を取り、良い関係を作っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の来訪時には声を掛け、県外の家族には電話で連絡している。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 利用者の家族が来訪した時に写真を渡しているが、日ごろの暮らしぶり等を伝える便りは、創刊号を発行した後出していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 電話で報告し、個人記録などに記載している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 月1回、家族に確認してもらいサインをもらっている。来所できない家族には、領収書と一緒に金銭出納帳をコピーし郵送している。	○	家族にとって、利用者がグループホームでどのように暮らしているのかを知ることは、安心と喜びに繋がる。日ごろの生活やエピソードを家族に伝える一つの方法として、お便り発行の再開を期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会の代表が運営推進会議に参加しているが、家族は遠慮がちとなるので、意見を出しやすいように意見箱を設置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 今までに、職員の配置や見守り、部屋の片付けなどの要望が出されたが、すぐに対応し、苦情には至っていない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 職員の異動は極力なくし、馴染みの関係を継続できるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 職員間でフォローし、利用者の不安をなくすように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 研修の必要性は理解しているが、業務に追われ時間が取れない状況である。 パート職員にも職員と同様に対応しているが、業務が優先し、実際に研修を受ける機会は少ない。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修受講後、研修報告書を作成し、研修報告会で報告している。	○	日々の多忙な業務が優先し、研修に参加できない実情はあるが、グループホームのサービスの質の向上には知識・技術の研修は欠かせないため、継続した研修により、職員の資質の向上が図られることを期待する。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 運営推進会議でグループホームの連絡会を提起して、地域包括支援センターがアンケートを実施しているが、現在、地域の同業者との交流は無い。	○	同業者との交流は、相互に学び合うことが多く、グループホームの質の向上に繋がる。今後グループホーム間の交流、勉強会等の活動を通じて、グループホームの質の向上が図られることを期待する。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 本人と家族に面接し、生活歴等を聞き取り、把握するようにしている。病院には事前に訪問し、情報を得るようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 見学や宿泊体験をもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 理事長、施設長、管理者が面接し、その後職員を交えて話し合っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>利用者と一緒に草むしりや昔話などをして、利用者とは接する時間をできるだけ多く確保するようにしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>裁縫の得意な利用者に着物の縫い方やボタン付けを習ったり、また、ことわざや花の名前を覚えてもらったり、利用者の経験から子供のしつけや育て方を教わったりしている。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>介護度の高い利用者が多いが、利用者が望んでいること、困っていることを聞き取ったり、感じ取ったりして支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族等から情報を得たり、利用者の態度や表情から把握している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>利用者の状況は常にミーティングで話し合い、モニタリングは3カ月に1回、カンファレンスは6カ月に1回行っている。</p>		
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。</p> <p><input type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。</p> <p>入院等で状態が変化した場合は、1～2週間様子を見た上で対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p> <p>計画を見直して作成する際に、本人の状態や介護内容に応じた個別の期間を設定していない。</p>	○	<p>利用者、家族の要望や状態に変化が生じ、現状の介護計画で対応できなくなった場合は、変化に応じたきめ細かなケアを提供できるように臨機応変な介護計画の見直しを求められる。また、期間設定についても、内容に応じた個別の期間設定が必要になるので、見直しを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 看護師を配置し、協力医療機関との連携で、医療処置を受けながら生活が継続できる。 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 現在該当者はいないが、重度化・終末期に対応できる体制にあり、対応指針についても、家族会に説明している。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 ふるさと訪問や通院送迎には職員が同行している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 通院には看護師が同行し、情報を記録して職員に周知し、家族にはその都度連絡している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 昨年12月に重度化対応、終末期ケア対応指針を定め、家族会で説明して、家族から同意を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 該当者はいないが、重度化対応、終末期ケア対応指針に基づき、医療機関とも連携して取り組む体制にある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉がけや対応に配慮している。 利用者の尊厳を大切にして、介護する時の言葉掛けや態度に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 職員採用時にはプライバシーの保護について研修し、日々の業務の中でも注意を喚起し、退職時にも在職中に知り得た個人情報について話さないように伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 職員採用時や月1回の学習会で研修している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 部屋で休みたい、ゲームをしたい、買物に行きたいなど、その日にしたいことを利用者から聞き取り、また、声かけ時の表情で把握するなどして、柔軟に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 介護度の高い利用者が多く、食事に関する一連の流れに携わることのできる利用者が少ないので、献立づくりや調理は基本的に調理師が行い、土曜日と日曜日の一部を職員が調理している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。	○	食事に関する一連の流れは、利用者一人ひとりの力を発揮する場面を作りやすく、また、食事は利用者を楽しみや喜びをもたらすものでもある。介護度の高い利用者が多く難しい面もあるが、利用者の意思や気持ち、能力を見極めながら、食事を通じたさまざまな楽しみを発揮できる場面づくりを期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p><input type="checkbox"/>利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。</p> <p>利用者に、入浴の希望時間帯や回数を聞き対応しているが、隣接しているデイサービスを利用しているので3~4人一緒に、週3回(月水金)、夕方5時までの入浴となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。</p> <p>時間をずらして声を掛けたり、拒否される場合は更衣や清拭を行って対応している。</p>	○	<p>デイサービスを利用した入浴であり、回数と時間帯が決められている。広い浴場で温泉気分も味わいながら、大勢で入浴を楽しむことも大切であるが、家庭での日常の入浴とは異なるので、利用者の思いや希望に添った入浴支援を期待したい。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。</p> <p>洗濯物たたみ、テーブル拭き、菜園の苗の買い付けなど、利用者のできることや楽しみに応じて役割を担ってもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。</p> <p>食事作りでの場面は少ないが、野菜の種蒔き時期や育て方にアドバイスをもらったり、一緒に植付けに出かけるなど、能力を発揮できる場面を作っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。</p> <p>家事や庭いじりに興味の無い男性の利用者には、野球のキャンプや展示会に出かけるよう働きかけるなど、利用者の楽しみごとを作り出すように努めている。</p>		
25	61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。</p> <p>スーパーマーケットへの買物、公園や菜園への散歩などに出掛けている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。</p> <p>車椅子も利用して戸外に出るようにしている。また、車を利用し桂浜や五台山などにも出掛けている。</p> <p><input type="checkbox"/>日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。</p> <p>ドライブには法人の職員がボランティアとし参加し出かけているが、散歩は気候や天候に左右され、日常的な外出はしていない。</p>	○	<p>一日屋内で過ごすことは、ストレスや体調不良に繋がる。散歩や外出は、気分転換、五感の刺激を得られ、地域住民にもグループホームを理解してもらえる機会となるので、より一層戸外に出る取り組みを期待したい。</p>

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向を持つ利用者が2人いるが、ミーティングで話し合い、見守るなどの対応をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。</p> <p>市民会館(市の出先機関)や地域住民の理解は得られており、見守りや連絡をしてもらえる関係はできている。市民会館発行の便りにもグループホームについて掲載してもらい、情報を提供している。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 避難訓練等は定期的実施しているが、地域住民の参加、協力は得られていない。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 建物にスプリンクラーや防火壁を設置し、避難路の確保や消火器の定期点検もしているが、非常用食料、備品は準備していない。</p>	○	<p>災害時には、グループホームの職員だけでは利用者を安全に避難させることは困難であり、地域住民の協力が必要不可欠である。日ごろの訓練にも参加、協力を得られるように働きかけることを望む。非常用食料・備品の準備もされたい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 食事量、水分摂取量は、チェックし把握している。特に水分摂取については声を掛け、夜間は各部屋にやかんを置き、水分補給に気をつけている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 個人の生活歴等から嗜好を把握し、土曜日のホーム独自の献立に取り入れている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>対面式の台所、居間には食卓、ソファ、テレビが配置され、畳の間もあり、使いやすい空間になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>天井に紙風船、壁面に折り紙の飾りつけ、ガラス戸や窓には季節のイラストを貼っており、あまり家庭的な雰囲気は感じられない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>雛祭りの段飾りが飾られ、桃の花やチューリップも生けられており、季節感に配慮している。</p>	○	<p>共用空間の飾り付けの多さは、家庭的な雰囲気を壊しているように感じられるので、もう少し工夫されたい。</p>
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置おくなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。</p> <p>居室には、その人らしさが感じられる机、TV、冷蔵庫、筆筒、写真、花などを置き、居心地よく過ごせるように配慮している。また電話も居室に引くことができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。</p>		